

◆ 西洋梨の定期防除（注意事項等も必ずお読みください。）

田麦沖のラフランスの開花は、昨年よりも2日遅く確認されています。

腐らん病・輪紋病等の感染防止のため、雨が続く前に薬剤散布を完了するようにしましょう！詳細は下記をご覧ください。

◆ 年度別ラフランス開花状況（調査地点：田麦）

	平年	H24	H25	H26
開花	4/27	4/30	4/26	4/28

◆ 散布日： 月 日

◆ 散布量： リットル

◆ 落花後の散布（5月上旬）

散布時期	前回から約10日後 *注意事項①、②、③参照 5/4～8（左記は目安となります。雨が続けている場合は前倒しで散布しましょう！）
散布薬剤	水 1000 当り 展着剤 10ml ベンレート水和剤 50g（前日、4回） モスピラン顆粒水溶剤 25g（前日、3回）*注意事項参照
対象病害虫	輪紋病、胴枯病、（腐らん病）、アブラムシ類
散布量	10アール当り 400 リットル
注意事項	① ミツバチ、ツツハナバチ等、訪花昆虫の保護のため指定薬剤以外使用しない。また、散布は早朝（午前6時頃まで）に実施する。 ② 収穫前や収穫中の作物への飛散に十分注意しましょう。 ③ 開花期以降、アブラムシ類の発生が見られる場合は、今回の散布を早めてください。

◆ 5月上中旬の重点作業



① 摘花

樹・枝ごとに花芽の着生状況にバラつきがあります。全体的に花が少ない場合は、摘花の程度を軽くし、摘果で着果量の調整をしましょう。

② 主枝・側枝誘引

- わい性台樹・・・次年度の花芽着生促進と側枝を太らせないために必ず実施しましょう。
- 普通樹・・・主枝の誘引。オーロラは45度、ラ・フランスは30度に誘引する。

③ 予備摘果（満開10日後（5/10～）から始める）

- 結実状況を確認したら早急に実施しましょう。
- 基本的に弱い果そうは摘果するが、花芽が少ない場合は弱い果そうも利用し着果量を確保してください。

④ 腐らん病対策 *全域で多発傾向です！早めの抑制対策を講じましょう！

- 病斑の処理は遅れば遅れるほど拡大するので、見つけしだい削り取り処理や切除を行ないましょう。
- 削り取り後は、塗布剤（トップジンMペースト等）を塗布する。また、せん定の切り口等の感染源保護も確実に行ってください。